

①事業実施報告書詳細

学校名 上越市立高志小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
30	正善寺川	総合的な学習の時間 ・身近な川(正善寺川)を探検し、繰り返し触れ合うことで調べたいことややりたいこと、様々な気付きを蓄積していった。		・何気なく見ていた景観(正善寺川)の中に新たな発見があり、今の景観が成り立っている生物の生態系や歴史、環境問題、人々の思いを知ることができた。
3	教室	国語科 ・調べたことをもとに、五十音ごとにカルタの読み札作りを行った。		・五七五の17文字に表現する難しさと面白さを感じながら、読み札を作ることができた。 ・ペアで協力しながら作成することができた。
3	教室	図画工作科 ・読み札に詠んだ景観を絵で表現し、絵札作りを行った。		・読み札の景観が伝わるように場面構成を考え、丁寧に絵を仕上げることができた。
3	音楽室	国語科 ・学年で完成したカルタのお披露目会を行った。		・自分たちが作ったカルタを自信をもって紹介していた。
	行事	行事 ・できあがったカルタを使って、全校、地域の方対象にカルタ遊びを行った。		・地域の方々や他学年の児童もカルタ遊びを通して、地域の景観に関心をもつことができた。

## ②学習指導案

単元名 (全39時間)	かがやけ！ わたしたちの正善寺川 ～正善寺川カルタを作ろう～
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正善寺川の景観や歴史に目を向け、そのよさや環境問題などを俳句と絵に表現し、カルタにまとめる。</li> <li>・カルタを通して、地域の人たちに自分たちが見つけた正善寺川のよさを伝える。</li> </ul>
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 正善寺川を探検して、</li> <li>2 調べたことを言葉と絵で表現し、カルタの読み札と絵札を作る。</li> <li>3 できあがったカルタを使って地域の方々に紹介したり、全校児童で遊んだりする。</li> </ol>
参考資料 準備品 実施場所等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み札を書く用紙、絵札を描く画用紙</li> <li>・正善寺川（上流、中流、下流）、高志小学校教室</li> </ul>

### 学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○正善寺川を繰り返し探検する。自分が興味をもったことについてさらに追究する。</li> <li>○正善寺川の歴史や景観に詳しい方に案内していただきながら、調べたりインタビューしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルカメラ、シートを準備する。</li> <li>・地元の方や川の専門家の方に事前に活動の趣旨を伝え、協力いただけるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集力（シート）</li> </ul>
3	○調べたことをもとに、カルタの読み札を作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のカルタを提示し、読み札のイメージをつかませる。</li> <li>・できあがった読み札を紹介させ合いながら、言葉を吟味させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現力（読み札）</li> </ul>
3	○読み札をもとに、カルタの絵札を作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラで撮影した活動写真を準備し、活用できるようにする。</li> <li>・図鑑や資料も用意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現力（絵札）</li> </ul>
3	○できあがったカルタを学年で発表したり、文化祭でカルタ遊びをしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カルタを作った経緯やカルタの内容を伝えるための紹介文を書かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現力（紹介文）</li> </ul>

#### <留意点>

- ・カルタ作りが目的となるが、児童の表現したいという思いを大切に活動を進めるようにする。
- ・できあがったカルタの今後の活用については、児童のアイデアを生かし、実現できるようにしていく。

### ③ 実施内容について

#### (1) 実施にあたり工夫した点

- ・繰り返し、地域の景観（正善寺川）とかかわった。
- ・地元の方や川の専門家の方から地域の景観や歴史について話を聞く場を設定した。
- ・絵札だけでなく、読み札の字も子どもの字を採用し、印刷所に依頼した。
- ・完成したカルタは、お世話になった方々に寄付する予定。

#### (2) 実施にあたり苦労した点

- ・人数の関係で、読み札と絵札は、二人ペアで作成した。できれば、一人1枚作らせたかった。
- ・1年間の活動を振り返る場としてカルタを作成したため、カルタの原稿作成が3月になり、印刷が次年度4月にずれ込んでしまった。できれば、年度内に完成させたかった。

#### (3) 児童の反応

- ・繰り返し景観（川）とかかわることによって、自分なりの課題を設定し、追究活動を進めることができた。地域の景観に没頭する姿が見られた。
- ・地元の方や川の専門家の方から景観や歴史について話を聞くことによって、地域の景観を大切にしたいという思いを高めることができた。
- ・正善寺川のよさや環境問題への提言など、自分たちの伝えたいことが、カルタになることで自己有用感が高まった。達成感をみんなで味わうことができた。

#### (4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- ・子どもとともに、地域の景観や歴史、地元の方々の思いを知ることができた。没頭することができた。
- ・学習のまとめとして、子どもの思いの発信の場として、この「カルタ作り」が有効だということを実感した。

#### (5) 今後の課題と取り組み [児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等]

- ・いつ、子どもに「カルタ作り」をもちかけるか？「カルタ作り」を目的として、年度当初から取り組むべきか？今後の課題である。
- ・子どもが撮影した写真でカルタの絵札を作る取り組みもおもしろい。機会があれば実践したい。